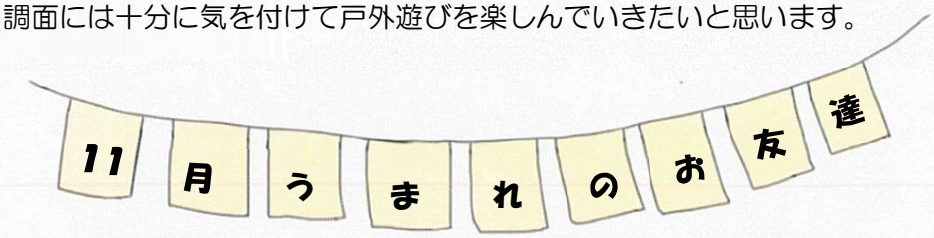
りすぐみだより　11月

尚徳福祉会　とちょう保育園

朝夕の冷え込みが強まり、少しずつ冬の足音が聞こえ始めました。保育園の手洗い場も温水が出るようになり、「あっかたいね(温かいね)」と子どもたちも呟いています。

散歩に出かけると「虫(トンボ、コオロギ)いるかな？」「どんぐりあるかな？」と秋の自然との出会いを楽しみにしている子どもたち。自分のどんぐりが見つかると「はい、どーぞ！」とお友だちにプレゼントする素敵な姿もあるのですよ。これからますます寒さが厳しくなってきますので、体調面には十分に気を付けて戸外遊びを楽しんでいきたいと思います。



11月の目標

〇リズムに合わせて身体を動かしたり、保育士や友だちの模倣をしたりして表現する楽しさを味わう。

→楽しく身体を動かす中で、表現する楽しさを味わい表現したい気持ちを育てていきます。

〇表情や身振り、言葉等で思いを表現したり、受け止められる中で安心感を得る。

→言葉だけでは十分に表現しきれない時期なので、ささやかな表現からも「自分の気持ちに気付いてくれる」という安心感を得られるようにしていきます。

先日はお忙しい中、保育参観・個人面談にお越しいただき誠にありがとうございました。子どもたちがじっくり遊び込む姿やお友だちと遊ぶ姿等々ご家庭とはまた少し違ったお子さまの姿を見ていただけていたら幸いです。面談ではご家庭でのお子さまの様子を沢山お話しいただきありがとうございました。また気になることやご相談がございましたらお気軽にお申し付けください。

さいきんのりすぐみ

人形用の布団を何枚か手にしていたＡちゃん。たたたっと走ってＢちゃんのところに「はい、どーぞ。Ｂちゃんのよ！」と一枚渡しに来てくれました。Ａちゃんは寝転がって布団を自分の体に掛けました。Ｂちゃんも一緒になって寝転びます。その様子を見た他のおともだちが『私も！』と言わんばかりに布団を持って横にやって来ました。「ねんねする？」「おいでー」と誘われたお友達は嬉しそうな表情でねんね遊びに加わりました。

自我の成長と共に『誰と遊びたい』という思いもでてきている子どもたち。「やだよー」と伝えることもありますが、こんな風にお友だちを誘ったり雰囲気に誘われたお友だちも一緒に楽しんだりもしているのですよ。一緒に楽しみたいな、という気持ちを大切にしていきたいと思います。